2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月４日

上場会社名　　株式会社バルカー　　上場取引所　東

コード番号　　7995　　ＵＲＬ　https://www.valqua.co.jp

代表者　　（役職名）代表取締役社長ＣＯＯ　　（氏名）瀧澤　利治

問合せ先責任者　（役職名）ＩＲ室長　　（氏名）遠藤　浩志郎　　ＴＥＬ　03-5434-7372

半期報告書提出予定日　　2026年11月４日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日

決算補足説明資料作成の有無：　有

決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	34,423	27.1	6,020	89.1	6,076	97.2	5,532	116.8
2026年３月期中間期	27,081	△10.0	3,183	8.8	3,081	△2.0	2,551	27.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　6,350百万円（214.2%）　2026年３月期中間期　2,021百万円（△30.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	313.88	―
2026年３月期中間期	144.93	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	89,242	58,578	65.6
2026年３月期	83,405	53,518	64.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　58,539百万円　2026年３月期　53,480百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	75.00	―	75.00	150.00
2027年３月期	―	85.00			
2027年３月期（予想）			―	115.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（参考）2027年３月期期末配当金の内訳　　普通配当85円00銭　　記念配当30円00銭

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	21.3	12,500	76.0	12,400	76.8	10,000	95.0	567.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 ー社　（社名）ー、除外 1社　（社名）VALQUA NGC,INC.

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	18,688,733株	2026年３月期	18,688,733株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,055,439株	2026年３月期	1,068,366株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	17,625,442株	2026年３月期中間期	17,605,923株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2026年11月４日に当社Webサイトに公開する予定です。

https://www.valqua.co.jp

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10
（重要な後発事象） …… 10
３．補足情報 …… 11
（１）受注の状況 …… 11
（２）海外売上高 …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間において当社グループは、最終期となる中期経営計画“New Frontier 2026”（NF2026）で掲げた「ステークホルダーの最高満足に向けて新たな価値創造に邁進する」という視点に立ち、足許の収益の拡大を図りつつ、半導体周辺の市場成長を展望した製品力の強化や生産拠点の増強、デジタルソリューションなどの研究開発体制の整備などを推進しました。

当社グループの当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高が344億２千３百万円（前年同期比27.1%増）、営業利益が60億２千万円（同89.1%増）、経常利益が60億７千６百万円（同97.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益が55億３千２百万円（同116.8%増）となりました。

なお、当中間連結会計期間における受注高は405億７千８百万円、当中間期末の受注残高は189億６千５百万円となりました。

●事業セグメント別の状況

当中間連結会計期間における事業セグメント別の業績は、次のとおりです。

・シール製品事業

シール製品事業は、先端産業市場向け高機能シール製品の需要が拡大したことに加え、機器市場・プラント市場向けの販売も伸長し、売上高は251億１千３百万円（前年同期比23.9%増）、セグメント利益は53億５千７百万円（同70.2%増）となりました。

・機能樹脂製品事業

機能樹脂製品事業は、先端産業市場・プラント市場向けライニングタンクや先端産業市場向けフッ素樹脂加工品に加え、機器市場向け各種製品の販売が増加し、売上高は93億１千万円（前年同期比36.5%増）、セグメント利益は６億６千２百万円（同1,727.8%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は892億４千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億３千６百万円増加いたしました。流動資産は533億５百万円となり、53億３千５百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加33億４千４百万円、電子記録債権の増加９億５千１百万円、仕掛品の増加６億８千６百万円、原材料及び貯蔵品の増加４億３千８百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少１億６千４百万円等であります。固定資産は359億３千６百万円となり、５億円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加等による投資その他の資産の増加12億４千６百万円、国内及び海外の不動産売却等による有形固定資産の減少９億３百万円等であります。

負債は、306億６千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億７千６百万円増加いたしました。流動負債は161億５千１百万円となり、３億２千７百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加14億４千６百万円、未払法人税等の増加５億８千５百万円、短期借入金の減少14億２千４百万円等であります。固定負債は145億１千１百万円となり、４億４千８百万円増加いたしました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債の増加10億２千３百万円、その他に含まれる資産除去債務の増加１億９千９百万円及び長期借入金の減少８億９千４百万円等であります。

純資産は585億７千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億６千万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加42億１千万円、その他有価証券評価差額金の増加６億６千７百万円等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.1%から65.6%となり、1.5ポイント改善しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、先端産業市場における販売が高水準に推移したことなどにより、売上高及び各利益ともに想定を上回る実績となりました。これを踏まえるとともに今後の需要動向を精査した結果、通期連結会計期間につきましては、売上高及び各利益ともそれぞれ前回発表予想を上回る見込みとなりました。

そのため通期連結業績予想につきましては、売上高を前年同期比21.3％増の710億円、営業利益を同76.0％増の125億円、経常利益を同76.8％増の124億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同95.0％増の100億円へと見直しをいたしました。

詳細につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

この予想には、先端産業市場などにおける需要動向の変動並びにエネルギー・原材料価格等の上昇を一定程度考慮しておりますが、世界的なサプライチェーンの寸断、急激な外国為替水準の変動、世界各地における地政学問題のさらなる悪化など当社グループの事業環境に大きな影響を及ぼす事態が発生した場合、予想値と実際の業績とは乖離する可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,915	11,259
受取手形、売掛金及び契約資産	12,816	12,652
電子記録債権	3,793	4,744
商品及び製品	6,910	7,074
仕掛品	1,300	1,986
原材料及び貯蔵品	12,663	13,101
その他	2,731	2,513
貸倒引当金	△160	△26
流動資産合計	47,970	53,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,139	10,736
土地	4,237	3,242
その他（純額）	9,201	8,697
有形固定資産合計	23,579	22,676
無形固定資産		
のれん	783	740
顧客関連資産	1,283	1,244
その他	1,805	2,043
無形固定資産合計	3,872	4,029
投資その他の資産		
投資有価証券	4,189	5,217
その他	4,041	4,251
貸倒引当金	△247	△238
投資その他の資産合計	7,983	9,230
固定資産合計	35,435	35,936
資産合計	83,405	89,242

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,049	6,495
電子記録債務	725	546
短期借入金	3,646	2,222
１年内返済予定の長期借入金	1,135	1,535
未払法人税等	901	1,487
賞与引当金	695	835
役員賞与引当金	80	50
その他	3,590	2,978
流動負債合計	15,824	16,151
固定負債		
長期借入金	11,483	10,589
退職給付に係る負債	249	255
その他	2,329	3,666
固定負債合計	14,063	14,511
負債合計	29,887	30,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,957	13,957
資本剰余金	4,792	4,801
利益剰余金	31,932	36,142
自己株式	△1,861	△1,839
株主資本合計	48,820	53,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,483	2,150
為替換算調整勘定	2,805	3,008
退職給付に係る調整累計額	370	318
その他の包括利益累計額合計	4,659	5,477
非支配株主持分	38	39
純資産合計	53,518	58,578
負債純資産合計	83,405	89,242

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	27,081	34,423
売上原価	15,486	19,111
売上総利益	11,594	15,312
販売費及び一般管理費	8,411	9,291
営業利益	3,183	6,020
営業外収益		
受取利息	23	30
受取配当金	28	34
設備賃貸料	139	114
持分法による投資利益	7	26
為替差益	－	108
その他	98	58
営業外収益合計	298	373
営業外費用		
支払利息	136	140
設備賃貸費用	138	110
為替差損	64	－
その他	60	66
営業外費用合計	400	317
経常利益	3,081	6,076
特別利益		
固定資産売却益	37	1,674
特別利益合計	37	1,674
特別損失		
固定資産廃棄損	6	19
事業構造改善費用	107	－
関係会社清算損	－	40
特別損失合計	113	59
税金等調整前中間純利益	3,005	7,691
法人税、住民税及び事業税	816	1,570
法人税等調整額	△363	587
法人税等合計	452	2,158
中間純利益	2,553	5,533
非支配株主に帰属する中間純利益	1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	2,551	5,532

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,553	5,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	665
為替換算調整勘定	△610	202
退職給付に係る調整額	△54	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	3	2
その他の包括利益合計	△531	817
中間包括利益	2,021	6,350
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,021	6,350
非支配株主に係る中間包括利益	△0	0

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,005	7,691
減価償却費	1,374	1,373
のれん償却額	－	42
顧客関連資産償却	－	39
受取利息及び受取配当金	△52	△65
支払利息	136	140
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△152	△161
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△13	5
固定資産廃棄損	6	19
事業構造改善費用	107	－
固定資産売却損益（△は益）	△37	△1,674
売上債権の増減額（△は増加）	1,604	△602
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,627	△1,237
仕入債務の増減額（△は減少）	△546	1,149
その他	889	△224
小計	4,696	6,495
利息及び配当金の受取額	52	67
利息の支払額	△121	△137
法人税等の還付額	46	394
法人税等の支払額	△1,232	△1,043
特別退職金の支払額	△100	－
求償権の回収額	5	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,346	5,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,953	△2,016
有形固定資産の売却による収入	69	3,313
無形固定資産の取得による支出	△187	△479
補助金の受取額	－	181
差入保証金の差入による支出	△6	△22
差入保証金の回収による収入	3	5
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	△1,735	－
その他	△25	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,834	959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,832	10,014
短期借入金の返済による支出	△7,349	△11,465
長期借入れによる収入	3,689	200
長期借入金の返済による支出	△879	△772
リース債務の返済による支出	△105	△95
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の処分による収入	0	－
配当金の支払額	△1,317	△1,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129	△3,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△181	37
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△799	3,344
現金及び現金同等物の期首残高	7,969	7,915
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,169	11,259

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ．前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）
	シール製品事業	機能樹脂製品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	20,261	6,819	27,081	－	27,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	20,261	6,819	27,081	－	27,081
セグメント利益	3,147	36	3,183	－	3,183

（注）セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間においてトルクシステム㈱（現 バルカートルクシステム㈱）の全株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額はシール製品事業において3,377百万円増加しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当中間連結会計期間においてトルクシステム㈱（現 バルカートルクシステム㈱）の全株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間末においてのれんが1,749百万円増加しております。

Ⅱ．当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）
	シール製品事業	機能樹脂製品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	25,113	9,310	34,423	－	34,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	25,113	9,310	34,423	－	34,423
セグメント利益	5,357	662	6,020	－	6,020

（注）セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	7,169百万円	11,259百万円
預入期間が３か月を超える定期預金	－	－
現金及び現金同等物	7,169	11,259

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

３．補足情報

（１）受注の状況

（単位：百万円）

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	前中間連結会計期間（自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間（自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）	増減率(%)	前中間連結会計期間末（2025年９月30日）	当中間連結会計期間末（2026年９月30日）	増減率(%)
シール製品事業	19,459	27,406	40.8	6,297	9,656	53.3
機能樹脂製品事業	7,402	13,171	77.9	4,762	9,308	95.5
合　　計	26,861	40,578	51.1	11,059	18,965	71.5

（注）　前中間連結会計期間において連結範囲に含めているトルクシステム㈱（現 バルカートルクシステム㈱）については、前中間連結会計期間末の受注残高には含まれておりますが、前中間連結会計期間の受注高には含まれておりません。

（２）海外売上高

前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

	アジア	米国	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高(百万円)	7,248	1,298	106	8,652
Ⅱ　連結売上高(百万円)				27,081
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	26.8	4.8	0.4	32.0

（注）１　国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。
２　本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。
(1)アジア　・・・・・　中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム
(2)その他の地域　・・　ヨーロッパ
３　海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。

当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

	アジア	米国	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高(百万円)	8,132	2,191	478	10,802
Ⅱ　連結売上高(百万円)				34,423
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.6	6.4	1.4	31.4

（注）１　国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。
２　本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。
(1)アジア　・・・・・　中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム
(2)その他の地域　・・　ヨーロッパ
３　海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。